

# えんとつ フェスティバル 2009

地域の皆さんとの交流イベントである「えんとつフェスティバル2009」が今年の10月10日(土)に開催されました。

今回で7回目を数え、来場者も過去最高の約5千人となり、舞台での演奏やフリーマーケット、ごみ収集車体験、施設見学など各種イベントで盛り上がりしました。



## こもれびの足湯



ゆず湯で  
心も体も  
ほっかほか

「こもれびの足湯」では、昨年12月21日から23日の3日間、ゆず湯を楽しんでいただきました。

日本では古来より冬至にゆず湯に入る習慣があり、ゆず湯に入ると血行促進効果が高まるといわれています。



## まちの話題 こたえ

写真は、東大和市内に27体設置されているモニュメントの一つで、多摩湖・下貯水池堤防南側にある「木綿餅」です。

昔、東大和市では藍染の木綿餅の機械が盛んでした。この作品は、その木綿餅をイメージし、東大和市美術工芸品設置事業の一環として作成されました。

多摩湖の堤防耐震工事も終了し、きれいになりました。これから桜の花も開花し、また木々が芽吹く季節です。多摩湖周辺の散策を兼ねてぜひ観賞してみてください。



発行  
小平・村山・大和衛生組合  
187-0033 小平市中島町2番1号  
電話 042-341-1434  
平成22年3月発行

※掲載のついでには、途中で用いられた木製の扉のついで。

小平・村山・大和衛生組合は、小平市・東大和市・武蔵村山市の3市の市民生活から出るごみを処理する清掃工場を、管理運営する一部事務組合(特別地方公共団体)です。

## VOICE

### 編集後記

立春を前後して、久しぶりに旅行に行ってきた。場所は奈良です。今年、奈良は平成京都1300年を迎える市周辺では各種記念イベントが催されています。平城京は、我が国最初の本格的な首都で、国際交流都市であったとされています。今もこの時代に建てられた多くの寺があり、復元された朱雀門などを訪ねてその当時の雰囲気を楽しんでいます。さて、1300年というとはるか昔の話ですが、ごみ処理の歴史はいつごろから始まったのでしょうか。文献によると、江戸時代までは埋め立てが主流で、町にたぐり集まっていた糞溜は、空地にごみを捨てることを禁じ、一カ所に集めて海岸に埋め立てていました。今私たちの豊かな暮らしを支えている快適な暮らしも、人間が生きていく上で大切なことです。一方、現代は奈良時代や江戸時代にはなかった石油由来の製品とともに、使い捨ての商品が溢れ、処理しなければならぬごみの量も種類も増えています。1300年の遠い昔に思いをはせながら、将来の人たちのために、生命の基盤である水や空気や大地といった環境を考え、今私たちの暮らしを見つめていくことも大切ではないでしょうか。この「こもれび」は奈良時代にはごみは埋め立てられていたという説が一般的でしたが、しかし、平城宮跡のごみ捨て穴の遺構から、焼けた土器がみつかったという新聞報道があり、これは「埋め立て」という説を覆し、「ごみはすでに焼却していた」と専門家の間で今後議論を呼びそうです。

## まちの話題 東大和市

この物体は何? 宇宙からの贈り物かな?



※答えは4ページの下にあります。

# えんとつ

## No.26

小平・村山・大和衛生組合は、3市のごみを処理している清掃工場です。



### 《No.26主な内容》

- 35歳を迎えた“3号炉”～歩んできた35年そして未来への展望～
- 3市共同資源化事業の状況
- 分けた資源はどうなるの?

# 35歳を迎えた“3号炉”

## 歩んできた35年そして未来への展望

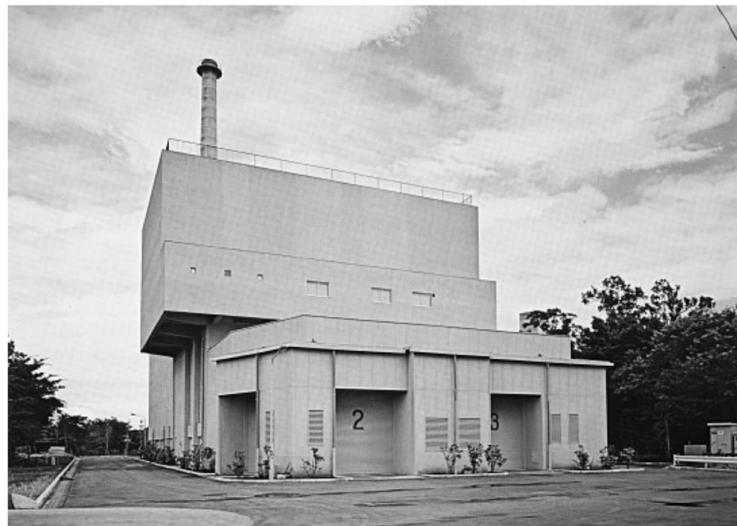
衛生組合には、焼却炉が3基あります。その中で、一番古いのが“3号ごみ焼却施設”です。

これまでの道のりを振り返るとともに、今後について、ちょっと考えてみました。

### 当時のこと

右の写真は、完成当時のものです。昭和50年3月にできましたので、35歳になりました（1号炉、2号炉は昭和62年に解体されています）。

完成時のパンフレットには、「人口が増加の一途をたどり排出されるごみ量も急増して新炉の建設を行った」と書いてあります。施設の能力は、24時間連続して150トンの可燃ごみを焼却できます。運転を開始すると5カ月間程度連続で運転し、年間約40,000トンのごみを焼却処理します。



完成時の3号炉

### リフレッシュ

年を経るごとに、あちこちが傷んでいきます。そのため、平成元年度から平成2年度に、建物そのまま、焼却炉本体の取り替えを行いました。新たに、自動燃焼装置も導入しました。

また、平成13年度には、昭和61年から使用している4・5号炉との一体的な施設更新を検討しましたが、全面更新ではなく部分更新とすることが決まりました。そこで、次の建替えまでの間、焼却施設を安定的に稼働させることを目的に、平成13年度から平成18年度にかけて、集じん器（バグフィルター）の設置、建物の耐震補強、ごみクレーン設備の改造、白煙防止装置の設置、計装設備の更新などを行いました。

### 今後

平成13年度から平成18年度に行った部分更新の際、焼却炉は十分な維持管理の下で、今後15年間使用していくということになっています。

そのことから、平成33年度には施設を建替える必要があります。

ごみは、出したら終わりではありません。私たちが日々利用しているごみ処理施設やその先の最終処分のことを考えると、明日が少し変わるかもしれません。

### 日々の管理

焼却施設は、点検や清掃の時期を除いて、365日24時間、稼働しています。焼却炉の運転にとって、一番大切なのは公害を発生させないこと。そして、日々のごみの収集が滞ることがないようにすることです。

施設の中にはごみを焼却するために、焼却炉の他に、クレーン、送風機、コンベアなど、ごみや灰を運んだり、空気を送ったり、排気ガスをクリーンにしたりする機械がたくさんあります。どれ一つ故障してしまっても、ごみの焼却はできなくなります。

焼却炉の稼働状況は中央制御室で集中管理しています。ここでは、機械の運転状況や排ガスのデータなどを監視しながら操作しています。

工場の中は、2時間に1回巡回点検し、給油を行ったり、異音や振動など変わった状況がないか確認しています。

焼却炉は24時間稼働しているので6人の班、4班（24人）が交替で運転操作を行っています。また、日々の機械の点検・整備のため日勤班（6人）があります。



中央制御室での監視の様子

## ◆みなさんの清掃工場を見学してみませんか

衛生組合では3市から収集された可燃ごみ、不燃ごみ、粗大ごみを処理していますが、その量は1日当たり220t（25mプール3杯分に相当）にもなります。

各家庭から出されたごみはその後どのように処理されていくのか、ごみの分別がなぜ大切なのかなど、清掃工場を見学しながら学んでみませんか？

- 通常の見学コースの所要時間は70分程度です。
- 見学できる日は月曜日から金曜日です（祝日を除く）。
- 見学には事前予約が必要です。申込は10人以上でお願いします。（10人未満の場合は要相談）

【見学会申込先】総務課 ☎042-341-4345  
※6月、7月、9月は小学校の見学会で混みあいますので、一般の方の見学はできるだけその他の月にお願いします。

### ■見学実績（平成21年4月～平成22年1月分）

	小平市		武蔵村山市		東大和市		その他		合計	
	人数	団体数	人数	団体数	人数	団体数	人数	団体数	人数	団体数
小学生	1,117	15	264	3	628	7	-	-	2,009	25
一般	192	21	62	8	16	9	24	1	294	39
合計	1,309	36	326	11	644	16	24	1	2,303	64

### ◆平成21年度 情報公開の状況

(H21.4.1～H22.2.28)

請求件数	4件
公開	4件
一部公開	0件
非公開	0件
不存在	0件
公開率	100%

※公開率=(公開+一部公開)÷(請求-不存在)

## 3市共同資源化事業



小平市、東大和市、武蔵村山市の3市及び衛生組合の4団体は、平成33年度の焼却施設の建替えを見据え、さらなるごみ減量を進めるとともに、現在、3市それぞれで行っている資源物処理の共同化に向け、ソフト・ハード両面の検討を進めています。

現在、3市の副市長や組合助役などで構成する「3市共同資源化推進本部」とその下部組織である2つの「専門部会」で、東大和市暫定リサイクル施設用地（東大和市桜が丘2-122-2）を活用した容器包装プラスチックやびん、缶など資源6品目の共同処理を中心に、具体的な課題を整理し、解決策をまとめています。

資源物の処理をどのように進めていくのか。同時に検討している不燃・粗大ごみ処理施設の更新内容に大きく影響してきます。

今後、推進本部では、専門部会での検討結果の報告を受け、3市共同資源化事業の具体的な内容を固めていきます。

## ◆小平・村山・大和衛生組合議会報告

### 平成21年11月定例会（11月17日開催）

議案番号	内容	議決結果
議案第9号	平成20年度小平・村山・大和衛生組合一般会計歳入歳出決算の認定について	認定
議案第10号	平成21年度小平・村山・大和衛生組合一般会計補正予算（第2号）	原案可決

### 平成22年2月定例会（2月17日開催）

議案番号	内容	議決結果
議案第1号	小平・村山・大和衛生組合非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第2号	小平・村山・大和衛生組合職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第3号	平成21年度小平・村山・大和衛生組合一般会計補正予算（第3号）	原案可決
議案第4号	平成22年度における小平・村山・大和衛生組合を組織する市の分担金額について	原案可決
議案第5号	平成22年度小平・村山・大和衛生組合一般会計予算	原案可決

## 平成20年度一般会計決算（概要）

### 決算額

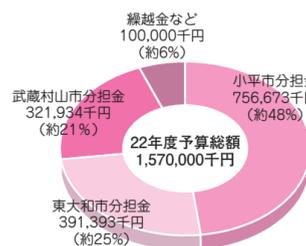
歳入	1,752,504,311円
歳出	1,706,723,834円
差引残額	45,780,477円

### 平成20年度の主な事業

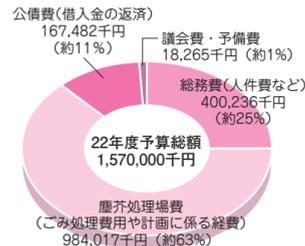
ごみ焼却施設のバグフィルターのろ布取替・ケーシングの補修工事の実施等及び3市共同資源化事業に向けた3市共同資源化推進市民懇談会の開催。

## 平成22年度一般会計予算（概要）

### 【歳入】



### 【歳出】



### 平成22年度の主な事業

- ・ごみ焼却施設集じん器保温対策工事
- ・ごみ焼却施設落灰ダンパー補修工事
- ・ごみ焼却施設AH伝熱管取替工事
- ・ごみ焼却施設ガス冷却室耐火物補修工事
- ・(仮称)3市共同資源化事業基本構想等業務委託

## 分けた資源はどうなるの？

小平市、東大和市、武蔵村山市の3市では、それぞれプラスチック製容器包装やペットボトル、びん、缶などの資源物を分別収集した後、リサイクルセンターなどで手選別などを行い、決められた大きさにするため、圧縮・梱包などの処理を行い、保管までを行っています（プラスチック製容器包装では、1メートル真四角のペールと呼ばれる状態で保管）。

これらの資源物は、再商品化事業者（リサイクル事業者）に引き取られ、プラスチック類はコンテナや土木建築資材になったり、工業原料（ガス化・油化）などにリサイクルされています。再商品化では、きちんとした分別が必要になってきます。

なお、平成20年度より、資源として出されたプラスチック製容器包装の内、再商品化に利用できなかったものを単に焼却処理することは認められていません。

わたしたちが分けて出した資源物が何になっているのか、詳しく知りたい方は、(財)日本容器包装リサイクル協会\*のホームページ（http://www.jpccra.or.jp/）をご覧ください。近隣の市との違いもわかります。

\* (財)日本容器包装リサイクル協会：容器包装リサイクル法に基づき、主務五省（環境・経済産業・財務・厚生労働・農林水産）が定めた指定法人  
※協会と契約するかどうかは、市の判断によります。

### 容り法における役割分担

- 【消費者】  
容器包装廃棄物の排出を抑制し、住んでいる地域のルールにそって分別排出する
- 【市町村】  
容器包装廃棄物の分別収集を行う
- 【事業者】  
事業において利用または製造・輸入した容器包装の量の「排出の抑制」を行うと共に、その量に応じてリサイクルの義務を負う

## 気をつけて！スプレー缶とライター

### ■ごみの中に潜む危険

ごみ収集車やごみ処理施設で火災や爆発が起こっています。原因は、カセットボンベやスプレー缶、ライターによる発火と思われる。

中身が残ったままのカセットボンベやスプレー缶などは、収集車内での金属同士による衝撃火花が原因で爆発・火災を引き起こします。

### 3市における収集車火災事故の発生件数

	平成19年度	平成20年度	平成21年度
小平市	3	3	3
東大和市	2	1	5
武蔵村山市	2	2	2
計	7	6	10



収集車火災発生（東大和市）



火災の原因と思われるスプレー缶

収集時に発火しなかったとしても、運び込まれてきた衛生組合の粗大ごみ処理施設で、ごみを砕く破砕機の中に入ると爆発する危険があります。火災・爆発事故は毎年のように発生していますが、平成21年度には発生件数が急増しています。ごみ収集車の火災や、ごみ処理施設での爆発は、莫大な修繕費がかかるだけでなく、施設や機械が壊れると、3市の市民33万人が出すごみを処理できなくなってしまう。また、最悪の場合、人身事故にもつながる危険もあります。

皆さんが出すごみが、その後どのように処理されていくのかを理解し、一人ひとりがルールを守っていただくことで、このような事故も防ぐことができます。

### ■スプレー缶等の正しい出し方

- カセットボンベ・スプレー缶を出すときは
  1. 中身は完全に使い切る（※注）
  2. 風通しの良い火の気のない場所であける
  3. 別袋に入れ、外に「スプレー缶」と明記し、指定の日に出す
- ※注）使い切れない場合は、ボンベ本体に記載されているメーカー、または(社)日本石油ガス機器工業会の「カセットボンベお客様センター」☎0120-14-9996、(社)日本エアソール協会 ☎03-5207-9850)に問い合わせるなど、正しい方法で処理してください。
- ライターを出すときは
  1. 中身を完全に使い切る
  2. 別袋に入れ、外に「ライター」と明記し、指定の日に出す

### ■万一来備えた体制づくり

衛生組合では施設の火災被害を最小限とするため、定期的に消防訓練を行っています。



自衛消防訓練の様子(2009.12.7)

### ■北多摩西部消防署からのお願い

「ヘアースプレー缶等による火災が多発」北多摩西部消防署管内では、ヘアースプレー缶等の中身が残ったまま「ごみ」として出されたことによる、ごみ収集車の火災が多発しています。このような火災を防ぐためには、市民の皆様のご協力が必要です。ヘアースプレー缶等は、中身のガスを完全に使い切るなど、市の指定する方法で廃棄してください。なお、詳しい廃棄方法は、お住まいの市役所にお問い合わせください。  
北多摩西部消防署 ☎042-565-0119